

「買い物の支払いには金（ゴールド）で。そんなカードが6月に英国で誕生し、来年にも日本に上陸する。ロンドンに本社を置くグリント社がマスターカードと組んで、即時決済するデビットカードを発行する。顧客は金を購入、預託し、カードの使用代金分の金を売却してもらい、支払いに充てる。銀行が介在しない新しい決済手段のカードとして注目されそうだ。グリント社のジェソン・カズンズ社長がこのほど来日し、来年にもマスタージャパンを通じて日本でデビットカードを発行すると表明した。グリントのデビットカードは、金に通貨と同じ

# ゴールド 金で決済 日本でも

## 英社がデビットカード

役割を持たせた新しい仕組みのカードだ。顧客はまずグリントで金を購入し、デビットカードを受

け取る。買い物や飲食などにこのカードを使用すると、代金に相当する分だけの金をグリントが売却し、支払いに充てる。金価格が上昇すれば、その分、多く買い物ができる。金相場が下落した時にまとめて金を買って置き、相場上昇を待ってカードを使えば、より多くの買い物ができる。当初対応する通貨は米ドル、英ポンド、ユーロ、スイスフラン。来年以降、日本円、香港ドルなどに広げる。顧客は自分の保有する金が今、どのくらいの価値があるのかをすぐ把握できる。スマートフォン、パソコンなどで

# 代金分を売却、支払いに

買い物の余り金額が通貨別にわかるので、海外でインテックを生かした新支払いに使う新しいデビ

「金は2000年以上前のローマ帝国時代にも通貨

「なぜ金を裏付けとするカードなのでしょう。」「金投資の歴史は古いが金を持っていても、それを使うことができなかった。グリントのカードは金に流動性を持たせたことで、金があっても使える通貨になった。これが本当のゴールドカードだ」



英グリントのカズンズ社長に聞く

## 仮想通貨より身近で信頼

「新しい金融の仕組みとなります。」「フィンテックは金融界と無関係だったエンジニアなどが主導するケースも多し、この分野を進めようとする。」「私自身、建築家出身で、直近は電子商取引の世界に」

「日本でも金を保有する人が増えており受け入れられると思う。日本の金融庁も英国の金融当局と連携している。」「金価格が変動する中で、その価値が認められ、仮想通貨より身近で信頼できるはずだ」

「リーマン・ショック以後、金融機関への信頼感、預金の安全性が薄れている。金は世界の中央銀行が外貨準備として保有しており、世界中でその価値が認められている。仮想通貨より身近で信頼できるはずだ」

「6年前から考えていた」

「リーマン・ショック以後、金融機関への信頼感、預金の安全性が薄れている。金は世界の中央銀行が外貨準備として保有しており、世界中でその価値が認められている。仮想通貨より身近で信頼できるはずだ」

編集委員 鈴木亮